

**明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会 第1回 農産物等研究専門部会  
議事要旨**

- 1 開催日時：平成28年8月8日（月）14:00～15:00
- 2 開催場所：明治大学黒川農場 第1回会議室
- 3 出席者：[座長] 小清水客員教授  
[部会員] 安藤委員、梅澤（進）委員、梅沢（正廣）委員、立川委員、志村委員、  
木下委員、下菌委員、山中委員、奈良田委員、岩淵委員  
[事務局] 川崎市経済労働局都市農業振興センター 小川主任、古山係長  
コンサルタント（(株)UR リンケージ 牧野）

4 議事：

(1) 協議会の概要と専門部会の取り組みについて

- ・今年度実施していく取り組みについて、事務局より説明。

(2) 実施計画（案）に関する意見交換

≪主な意見≫

1) 全体事項

- ①各専門部会の議論を元に、8月30日に開催する協議会で今年度の取り組みを決定させる。昨年度決めた3つの取り組みに、新たに2つの取り組みを加えた5つの取り組みを提案するが、この中から今年度の取り組みを本日決めたい。（事務局）

2) 黒川野菜・果物等のPRについて

- ①昨年度と同様に進めたい。地元農業者が収穫祭で黒川産農産物の直売を行う。
- ②収穫祭における駐車場については、再調整する。副市長からも意見があり、明治大学の駐車場だけでなく、地元の協力も得ながら、駐車場を確保していきたい。（事務局）
- ③道路を駐車場に使用するのであれば、地元説明会を行い、そこで協力を依頼する方が良い。
- ④地元説明会を開催することを検討し、そこで協力を依頼していく。（事務局）

3) 女性農業者と農産加工品に関する検討について

- ①なぜ女性限定なのか。男女区別せずにやれるとよい。また、女性をテーマとするなら、黒川の食をテーマに学生さんと農家が交流できる場を作っていけると良い。黒川みやげをここでつくるのは難しいのではないか。
- ②農協では、4Hクラブという明治大学の学生と話し合いの場を設けている。そこと連携することも考えられる。
- ③農産物加工に興味を持っている人がいれば、大学に食品加工室もあるため、協力

できる。その際には、ぜひ問い合わせしてほしい。

また、黒川の食文化について、とても興味がある。意見交換会ができるとよい。

- ④地元で加工品を作っている人や興味のある人に声をかけ、意見交換ができる場を設定する。(事務局)

#### 4) 大学と農家の意見交換会の実施

- ①農場で試験栽培している時期が農家の繁忙期になるので、なかなか日程を決めることができない。
- ②農場の視察はしてみたいが、施設野菜や有機農法の試験が多いと聞いている。できれば、露地野菜について話が聞きたい。
- ③アスパラや病害虫の講習会と同時に実施すれば良いのではないか。
- ④他のイベントと同時にできるのか検討する。(事務局)

#### 5) アスパラガスの新たな栽培方法「採りっきり栽培」の実施

- ①アスパラを行うとすると、12月に種を蒔き、3月に苗を植える。2-3月に講習会の募集を行い、苗を配ることもできる。(事務局)
- ②アスパラが黒川の土壌にあうかが課題である。
- ③展示圃の候補地も検討する。(事務局)
- ④アスパラの苗をもらえるなら、やってみたい人もいるかもしれない。

#### 6) 殺虫剤農薬抵抗性に関する講習会について

- ①大学と農家の意見交換会と殺虫剤農薬抵抗性に関する講習会を合体化させてはどうか。
- ②意見交換会だけでは人が集まらないが、具体的な内容と組み合わせさえすれば人も集まると思う。
- ③病害虫対策など、現場で使える知識がほしい。
- ④他のイベントと同時にできるのか検討する。(事務局)

### 5. まとめ

- ①何度も集まる機会をつくれないので、取り組みを絞った方がよい。
- ②大学と農家の意見交換会と殺虫剤農薬抵抗性に関する講習会は他のイベントと同時にできるのか検討する。
- ③今年度は、黒川野菜・果物等のPR、加工品づくりに関する意見交換会、アスパラガスの新たな栽培方法の実施について取り組む(事務局)

以上